



暑中お見舞い申し上げます。今号では、静岡県登録者の方から、受任した当時・現在の思いを綴っていただきました。各地域の活動については大阪地域での取り組みをご紹介します。そして2023年度クローバー運営委員会の取り組みなどを連載でお伝えしてまいります。

体験報告

田中 幸子／静岡県支部

昨年度「クローバー」に登録し、現在は2件受任をしています。初めて受任した時は、こんなに暗闇の道を進まなければならないのか・と不安しかありませんでした。受任が決まり、なにかを待ってればいいのか、こちらから動く必要があるかがわからず、意を決して家庭裁判所に問い合わせをしたところ「審判がおきていないので情報をお渡しすることはできません」と返され、今は待つときだと学習……。書類が届くたび、クローバー事務局や受任を経験している先輩に次の動きを示していただき、暗闇にいなながらも明かりを灯してくれる存在がいてくれることを心強く感じていました。そうやってなんとか歩みだしているところです。

2件ともに保佐での受任ですが、ご本人たちの人となりや、どのようなことを大切にしているのかを知りたいと思い、突如現れた保佐人がどのような人間かを知ってもらうために、定期的にお会いし、話しをする時間を設けています。保佐人として接するということが、病院や福祉サービス等の精神保健福祉士とどう違うのか、正直まだうまく整理できていません。代理行為目録という枠はあるものの、広くも狭くもとれるような書き方に思えます。

まだまだ勉強不足という感は否めませんが、ご本人の意思をしっかりと受け止め、望む生活に近づけるような関わりをしていきたいということが、初回報告等の提出を2件乗り越えた今、現在の思いです。

連載

クローバー登録者の横のつながり・地域活動について 第7回 ～大阪地域の取り組みについて～

川井 邦浩（クローバー運営委員／大阪支部）

今号ではクローバーの活動開始から13年目を迎えた「大阪の今」をご紹介します。

1. 待ち続けてはダメ、訪問してもダメ？

大阪地域では2010年に2人の登録から始まりました。2016年1月に4人で大阪家庭裁判所を訪問し、クローバーの活動と受任ができる体制であることを紹介しました。結果、複数の推薦依頼がクローバー登録者の受任へとつながりました。しかし、2018年頃から次第に推薦依頼が減るとともに大阪の登録者数も横ばいとなりました。再度2019年10月に家庭裁判所を訪問しましたが、推薦依頼にはつながりませんでした。

2. 登録者ヒアリングでヒントを見いだそう

登録者が徐々に増加する一方、「登録しても推薦依頼がこない」、「登録を継続するための経費が無駄になるので登録を抹消したい」などの意見がありました。同じ頃、クローバー運営委員会では各地域の現状や課題をヒアリングする企画があり、議論の結果2022年11月に大阪の登録者のヒアリングを実施することになりました。

3. 自分たちの実践は後見活動に寄与できる

「他団体では精神障害がある方への後見活動は難しいのではないか」を皮切りに、精神障害がある人の後見活動にもっと寄与できる、精神保健福祉士の専門的実践を積極的に広報しよう等の意見が出されました。これがきっかけで受任可能な体制整備と登録者のつながりを目的にした「クローバー大阪の集い」が提案され、集いを開催しています。

次号では、「クローバー大阪の集い」の内容と今後の取り組みについてをご紹介します。

認定成年後見人ネットワーク「クローバー」

◆登録・受任相談・受任件数

(2023年6月10日現在)

都道府県	登録者数	受任相談 累計	2023年度実績(6月10日現在)				受任件数	受任不可・ 取下数
			相談件数	相談件数の内訳				
				家裁から の依頼	中核機 関等の 依頼	登録者 経由の 依頼		
北海道	5	7	0	0	0	0	0	
青森県	1	4	0	0	0	0	0	
岩手県	2	2	0	0	0	0	0	
宮城県	6	9	0	0	0	0	0	
秋田県	4	3	0	0	0	0	0	
山形県	2	13	1	1	0	0	1	
福島県	3	3	0	0	0	0	0	
茨城県	0	0	0	0	0	0	0	
栃木県	8	14	5	5	0	4	1	
群馬県	2	0	0	0	0	0	0	
埼玉県	18	32	1	1	0	0	1	
千葉県	9	7	0	0	0	0	0	
東京都	47	170	6	4	2	0	6	
神奈川県	14	33	0	0	0	0	0	
新潟県	3	4	3	3	0	0	3	
富山県	0	0	0	0	0	0	0	
石川県	0	0	0	0	0	0	0	
福井県	1	0	0	0	0	0	0	
山梨県	3	5	0	0	0	0	0	
長野県	4	1	0	0	0	0	0	
岐阜県	3	3	0	0	0	0	0	
静岡県	8	17	0	0	0	0	0	
愛知県	14	13	0	0	0	0	0	
三重県	0	0	0	0	0	0	0	
滋賀県	1	0	0	0	0	0	0	
京都府	4	0	0	0	0	0	0	
大阪府	7	19	0	0	0	0	0	
兵庫県	8	0	0	0	0	0	0	
奈良県	0	0	0	0	0	0	0	
和歌山県	3	0	0	0	0	0	0	
鳥取県	1	4	0	0	0	0	0	
島根県	0	1	0	0	0	0	0	
岡山県	4	1	0	0	0	0	0	
広島県	4	5	0	0	0	0	0	
山口県	2	1	1	0	0	1	1	
徳島県	2	0	0	0	0	0	0	
香川県	0	0	0	0	0	0	0	
愛媛県	3	3	0	0	0	0	0	
高知県	2	0	0	0	0	0	0	
福岡県	22	72	1	1	0	1	0	
佐賀県	1	1	0	0	0	0	0	
長崎県	4	8	0	0	0	0	0	
熊本県	7	84	2	2	0	0	2	
大分県	1	0	0	0	0	0	0	
宮崎県	1	6	0	0	0	0	0	
鹿児島県	2	4	0	0	0	0	0	
沖縄県	11	21	0	0	0	0	0	
例外対応	0	2	0	0	0	0	0	
合計	247	572	20	17	2	5	15	

※「2022年度受任不可・取下げ件数」とは、候補者不在または依頼先からの取下げのあった件数です。

◆活動状況

(2023年3月1日～2023年6月30日)

- 3/7 とちぎのクローバー・クローバー連絡会議(第3回)
- 3/15 とちぎクローバーチームとクローバー事務局との打合せ
- 3/20 第3回報告様式・相談受付検討小委員会①
- 3/25 第5回神奈川県クローバー登録者の集い
- 3/29 第1回都道府県協会移譲・委託検討小委員会②
- 4/12 第1回報告様式・相談受付検討小委員会①
- 4/13 第1回東京クローバー登録者の集い
- 4/23 第1回大阪クローバー登録者の集い
- 5/10 第1回都道府県協会移譲・委託検討小委員会②
- 5/27 第1回神奈川県クローバー登録者の集い
- 5/28 第1回クローバー運営委員会
- 6/17 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート第29回定時総会

2023年度「クローバー」運営事業

～ ① 資質を高める取り組み～

2023年度のクローバー運営委員会活動がスタートしました。本事業の現状と課題、そして本年度の委員会の取り組みなどを連載でお伝えしていきます。

1. クローバーの現状

5月末現在、登録者数は新規24人を加え247人です。秋田・群馬・新潟・福井など登録者が少ない県に人が増えました。事業開始から13年、登録者数は約5倍、受任依頼件数は約26倍と右肩上がりです。現在の受任状況は未受任が多いものの、1～3件の受任している方が3割を占めます。本業やプライベートとのバランスをとりつつ後見活動を行う皆様の存在が心強いです。

増加する受任依頼に応え、本協会が将来ビジョン中期計画に掲げている「支部・ブロック単位での認定成年後見人の活動の浸透」の実現につながるよう2026年度末までに登録者380人を目指します。

2. 登録者の質を高める取り組み

学生や非構成員をも対象の課題別研修である入門編は6月と9月の募集は開始早々に定員を満たしました。この勢いを1月の応用・実務編に繋げたいと思います。登録者を対象にした聴講制度は入門編の動画を視聴できるチャンスです。知識や情報のブラッシュアップにお役立てください。こちらのご案内は登録者メーリングリストにて行います。また、今年の登録者継続研修の日程は10月7日(土)と11月26日(日)いずれもオンライン研修です。今回は県協会で開催されているクローバー活動の取り組みを学びます。

【クローバー登録者継続研修】

<https://www.jamhsw.or.jp/ugoki/clover/7-keizoku.html>
 ※今年度登録者継続研修の受講が必須かどうかは「構成員マイページ」から適宜ご確認ください。

登録者の皆様には是非ご参加いただき、自己研鑽に役立てていただければ幸いです。

文責：浅沼 尚子(クローバー運営委員長)

編集後記

先日、オンラインでの第1回入門編が無事終わりました。文面にもありましたが、入門編はあっという間に60名程の定員が埋まりました。入門編は門戸が広いので気軽に参加できることが大きな魅力かと思えます。また、「コロナ禍」からオンラインが中心となったことで、拍車がかかったのかも知れません。「コロナ禍」という言葉が『死語』になる未来が少しずつ近づいているのではないのでしょうか。

(岡田 昌大)